
平成 25 年

1 月の普及活動状況

ダイジェスト版

～県下 10 農林事務所農業普及課と農業経営課技術支援係の取組～



岐阜県農政部農業経営課

平成25年1月の普及活動状況ダイジェスト版

活力ある新産地づくり

岐阜農林■アスパラガス 岐阜地域普及活動成果検討会開催

1月25日に農業普及課は、シンクタンク庁舎(岐阜市)で岐阜地域普及活動成果検討会を開催し、事例発表と講演を行った。成果発表会には、管内生産者、JAぎふや市町村等の関係者など約100名が参加した。

事例発表では、「アスパラガス産地づくり」、「アイガモロボット現地実証」、「柿産地の活性化」の3事例を発表した。

「アスパラガス産地づくり」では、アスパラガスの産地拡大に向けて、実証試験を行いながら低コストハウスの導入や高温障害対策に取り組んだ事例を発表した。

講演では、ジェック経営コンサルタント山瀬代表取締役から「もうかる農業！～6次産業化の事例より」と題して6次産業化の取組事例等について説明が行われた。

参加者からは、各産地の振興に向けて、引き続き普及活動の支援を望む意見が聞かれた。農業普及課では、地域の期待に応えられるよう今後も地域に根付いた普及活動を展開する。



【普及成果を検討】

恵那農林■ブロッコリー 来年度の飛躍に向け一歩前進

農業普及課は、JAひがしみのと連携して1月30日にブロッコリー生産者を交えた産地振興会議を開催し、今年度の反省と次年度に向けた課題や推進策等を検討した。

平成24年度は、5生産組織が合計1.9ha栽培し、約2万8千玉(約9.7t)を出荷した。

各組織で課題は異なるものの、主な課題は、育苗時の高温や移植後の降水量不足による枯死であり、生産組織によって

は計画単収を下回る場所もあった。農業普及課からは、西日を避けるなどの育苗環境の改善や移植後の水管理などの改善方法を提案した。

来年度は、生産量やA品率の向上はもちろん、規格外品も共販以外のルートを確保して商品化率を高め、経営を安定することを目標に取り組むこととなった。



【戦略的な産地づくりを協議】

売れる農畜産物づくり

揖斐農林■柿 「早秋」「太秋」の安定生産を目指して

1月20日に大野町柿振興会が、会員のほ場で「早秋」「太秋」の剪定講習会を開催した。農業普及課では、農業経営課とともに苗木の育成、樹形の改善を中心に説明と実演を行うなど、栽培管理技術の向上を支援した。

今後、大野町柿振興会では、果樹経営支援対策事業を活用した新品種(早秋・太秋)への転換が進む見込みである。農業普及課では、関係機関と連携を図り、事業への取組み支援や新規導入者への技術支援を行い、樹園地の若返りや品種構成の見直しなどを支援していく。

郡上農林■山菜タラの芽 農業法人によるタラの芽ふかし栽培

農業普及課では、1月18日に今年度からタラの芽ふかし栽培を開始した和良町の農業法人を対象に、奥美濃たらの芽出荷組合長のふかし栽培ハウスで栽培研修会を行った。

研修会では、収穫に必要な資材、作業時にトゲが刺さりにくい手袋の使用等の基本的な作業方法や、温度管理、カビ防止対



【剪定講習会の様子】



【ふかし栽培の研修】

策などの栽培技術についてアドバイスをを行った。

2月には、栽培2年目の生産者も加えた研修会を開催する予定である。

下呂農林 ■ 飼料用米 WCSイネの耕畜連携会議を開催

平成24年に試験栽培を行ったイネのWCS（ホールクロップサイレージ）の品質が非常に良好で、牛の嗜好性も良いため、平成25年は、金山町で生産拡大を行うことになり、市内の栽培面積は、今年度の4倍の4haにする計画である。

そのため、1月11日に下呂市が、耕畜連携会議を開催し25年度に向けて役割分担や負担方法について協議した。その結果、畜産農家は、コンバイン収穫－ラッピング－運搬作業を行い、耕種農家は、収穫費用の一部を負担することになった。

農業普及課では良質なWCSの安定生産に向けて支援していく。



【耕畜連携会議の様子】

戦略的な流通・販売

中濃農林 ■ ひらく農業・中濃 6次産業化をテーマに開催

1月30日に農業普及課は、普及活動成果発表会である「ひらく農業・中濃」を開催し、生産者、加工グループ、直売所関係者、関係機関など約100人が出席した。

今年度は、「私の取り組む6次産業化」をテーマに、地域内外の優良な活動の発表を通して情報の共有化を図るとともに、今後の6次産業化への意識を高めることで管内の農業振興を図ることを目的に開催した。

生産者からは、ブルーベリードーナツやトマトジュース等の生産・加工・販売の取組事例が発表され、マーケティングに基づく事業計画の作成や儲けるための戦略づくりなどの取組について説明が行われた。農業普及課からは、水川技術主査が、「円空さといもの産地づくり」と題して新規栽培者の確保や栽培技術の向上、多様な販売の展開等について発表し、円空さといもの産地活性化に向けて生産・加工販売・担い手育成など総合的に進めた取組の成果を説明した。成果発表の後には、「円空さといもをつくってみたい」など、意見・質問が多く出た。

農業普及課では、参加者ひとりひとりが今回の成果発表からヒントを得て新たな取組が生まれることを願うとともに、地域の農業が更にひらくよう今後も支援を行う。



【生産者の事例発表】

多様な担い手の育成・確保

可茂農林 ■ 七宗町 集落営農組織化検討委員会（第3回）

七宗町の葛屋地区では、将来に渡って農地を管理する担い手を確保するため、新たな集落営農組織の設立に向けて検討委員会を設立し、協議を進めている。

1月16日に、七宗町葛屋第二公民館で地区検討委員、七宗町、JAめぐみの、農業普及課が出席し、今年度第3回目の検討委員会が開催された。

今回は、営農組織を設立するまでのプロセスを中心に協議を行った。農業普及課からは、委員に対して「営農組織を運営していくには地元の理解が必要。そのために地域内で十分に検討することが重要。」と助言し、今後の組織化に向け、地域内で合意形成を図るよう、出席者に対して意識づけを行った。

農業普及課では、今後も町、JAとの連携のもと、助言・支援を継続する。

東濃農林 ■ 新規就農者 新規就農者のトマトポット耕ハウスを市長が訪問し激励

今年度、多治見市においてトマトのポット耕栽培で就農したI氏は、市内では久しぶりの就農事例として注目されている。



【将来の農地管理に向け議論】

I氏のトマトは、平年より厳しい寒さで生育が遅れていたが、ようやく収穫期を迎え、地元量販店や農産物直売所への販売を開始した。

このような中、I氏は、1月25日に多治見市長、農業委員会を栽培現場に招いた。農業普及課では、I氏とともに市長らの訪問を歓迎し、就農経過や栽培状況について説明した。

市長からは、「市内の多くの人には是非食べて頂きたい。また、6月の開設に向け準備を進めている農産物直売所を活用し、I氏をモデルとした都市型農業の新たな担い手づくりを進めたい。」と心強い言葉を頂いた。

当日、農業普及課とI氏は、複数の新聞社や地元FMラジオ局からの取材に対応するとともに、地産地消の取組についても広報した。

飛騨農林 ■ 高山4Hクラブ プロジェクト発表で優秀賞

1月24日に岐阜市で東海ブロック4Hクラブ連絡協議会が開催した「東海ブロック農村青少年会議」において、高山4Hクラブ会員の南祐太郎氏が「ほうれんそう栽培における光質変換フィルムの利用とそれによる作業省力化の展望」をテーマにプロジェクト発表を行い、優秀賞を受賞した。

農業普及課では、発表に向けて昨年夏からクラブ員と打ち合わせを重ね、試験研究の目標や計画の策定、調査・分析方法への助言に加え、資料収集や資材会社の対応、発表資料の作成等について支援を行った。

南氏は、今回の受賞を受け、2月28日～3月1日に東京都で行われる「第52回全国青年農業者会議」で発表することになったため、全国発表に向け農業普及課では一層の支援を行っている。



【トマトを試食し記者らに好感を伝える多治見市長】



【受賞を喜ぶ南氏(左端)】

魅力ある農村づくり

西濃農林 ■ 鳥獣害対策 猪鹿無猿柵設置支援と活動事例報告

1月19日に海津市南濃町の志津地区住民が、1,230mに及ぶ猪鹿無猿柵の設置作業を行った。農業普及課では、柵設置作業の技術指導を行った。参加者には、直管パイプや針金の切断・結束などその道のプロが多数参加したため、作業はスムーズに進んだ。

また、1月25日には、西濃農業の活性化をめざすセミナーで普及活動事例として、管内の鳥獣害の状況と対策への取組を報告した。また、会場では、県農村振興課による猪鹿無猿柵等の展示が行われた。



【柵材料の準備作業】

その他

農業経営課 ■ 普及指導員研修 「技術・経営強化(経営指導高度化)研修」を開催

1月23日に経営指導高度化研修(第7回目/全7回)を開催した。

午前には、農林水産研修所つくば館で開催された「経営分析応用研修(国主催の中央研修)」に参加した普及指導員から経営指導における分析手法のポイント等研修の成果を報告をしてもらい、経営分析手法の意見交換を行った。

午後は、受講生が対象経営体を選び1年間かけて作成した「経営改善提案書」を事例研究として発表し合い、意見交換を行うとともに、農業革新支援専門員から分析手法、提案内容等についての助言・指導を行った。

対象とした経営体は、果樹園芸、施設園芸、土地利用型作物の法人経営で、改善提案の中身も色々な視点でのものとなっており、互いに参考となる発表であった。